

直方の歴史と文化

芭蕉の句碑と野見山朱鳥の句碑

文 柳 正 澄

第 33 回

芭蕉の句碑

多賀神社の社務所横の石段を下りて、直方市石炭記念館へ向かう道路の鉄道線路側に松尾芭蕉の句碑があります。

明治24（1891）年に新入の俳人岩野柳影が施主となって建立したもので、芭蕉の非常に有名な「古池や蛙飛びこむみずのを」という句が刻まれています。

裏面には柳影の句「夢の世の忘記念や一夜草」が刻まれています。

台座にはこの句碑の建立に協賛した直鞍地区の俳人40人の名前が並び、当時の俳諧の盛況ぶりがうかがえます。



芭蕉の句碑

芭蕉は51歳のときに九州への初めての旅を思い立ち、大坂まで来ましたが病に倒れ、「旅に病で夢は枯野をかけ廻る」の句を残して亡くなりました。従って九州には来ていないのですが、「俳聖」と呼ばれるだけに九州各地に多数の句碑が建立されており、これはそのうちの一つです。

野見山朱鳥の句碑

多賀公園の福智山を望む斜面に、直方の俳人野見山朱鳥（1917～70）の句碑があります。昭和47（1972）年に、彼が主宰した菜殻火社の同人によって建立されたもので、表面には「火を投げし如くに雲や朴の花」が刻まれています。

この句は昭和21（1946）年に高浜虚子が主宰する俳誌「ホトトギス」第600号の雑誌の巻頭を飾ったもので、これにより無名に近かった朱鳥は一躍俳壇に躍り出ました。

裏面には「苦悩や悲哀を経て来なければ魂は深くない」

という朱鳥ならではの言葉が刻まれています。

野見山朱鳥、本名正男は新町に生まれ旧制鞍手中学（現在の鞍手高校）卒業の後に画家を目指して上京したが病を得て帰郷し各地で療養生活を送りながら俳句の道に進みました。

昭和24（1949）年にホトトギスの同人に推挙され、昭和27（1952）年からは自ら俳誌「菜殻火」を主宰し更にその名を高めました。しかし、次第に師である虚子との溝が深まって孤高の道を歩むことになり、52歳で没しました。

旧居の近くに野見山朱鳥記念館があり不定期に展示が行われます。またこの句碑の横に夫人の野見山ひふみさんの句碑も建立されました。



野見山朱鳥の句碑

文化財に関する問い合わせ

文化・スポーツ推進課社会教育係
(TEL 25-2326)

編集後記

急に冷え込み、体調管理が難しい季節です。最近健康に関する催しがあちこちで行われています。このような機会を利用して、自分の健康状態を把握し、少しでも異常があればすぐに病院を受診しましょう。(Y)

人の動き

■人口 57,177 人（－235） ■世帯数 26,924 世帯（＋106）
〔うち外国人 463 人〕
男 26,935 人（－50） 全て平成 29 年 10 月末現在
女 30,242 人（－185） （ ）は前年同月との比較

- ◆発行…直方市 〒822-8501 福岡県直方市殿町 7 番 1 号
URL <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
- ◆発行日…毎月 1 日、15 日（月 2 回）
- ◆編集…企画経営課ふるさと情報係
TEL (0949)25-2236 / FAX (0949) 24-3812
E-MAIL n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
- ◆印刷・制作…久野印刷株式会社

携帯電話向け情報提供サービス



情報メール
「つながるのおがた」
緊急情報、イベント情報など



直方市ホームページ
市の情報がもりだくさん

UD FONT